いつまでも健康な体でどこまでも

けん しょう かい

健翔会だより

114 号

2023・4 月 1 日

発　行　所

香川県坂出市川津町

（〒762-0025）3329-14

医療法人社団　健翔会

堀　口　医　院

TEL　0877-45-8686

◎本紙に関するご意見、ご質問がありましたらお気軽にどうぞ❣

＜担当＞高橋，青北

TEL　0877-45-8686　FAX　0877-45-8883

HP　http://www.horiguchi-hp.jp

皆さん、お元気ですか。
またお会い出来たらいいですね♪

堀口　裕　先生

活性酸素が病気をつくる

人は生きるために食べ物をたべて、エネルギーをつくる必要があります。エネルギーになる食べ物は大きく分けて 3 つです。糖、たんぱく質、脂(あぶら)です。これらは体の至る所の細胞で使われますが、より多くのエネルギーを引き出すために酸素を利用します。しかし酸素が原因で、活性酸素と呼ばれる細胞をサビさせる物質が発生します。実はこの活性酸素のために細胞が傷つき、病気の細胞から病気が起こるのです。

活性酸素を消す抗酸化物質とは

細胞で発生する活性酸素は、幸いにも細胞で作られる物質や食べ物に含まれる物質によって消すことができます。一般に抗酸化物質といいます。代表的なものにビタミン C(かんきつ類)やビタミン E(アボカド)、コエンザイムキューテン(いわし)、グルタチオン(レバー)、アルファリポ酸(ほうれん草)などがあります。しかし心身のストレスやオーバーワークが続くと活性酸素の発生量が多くなり、消去するために多量の抗酸化物質が必要になります。また食事で摂る抗酸化物質の量が少ないときも、十分に活性酸素を消すことができません。

還元電子治療器が電子を補充する

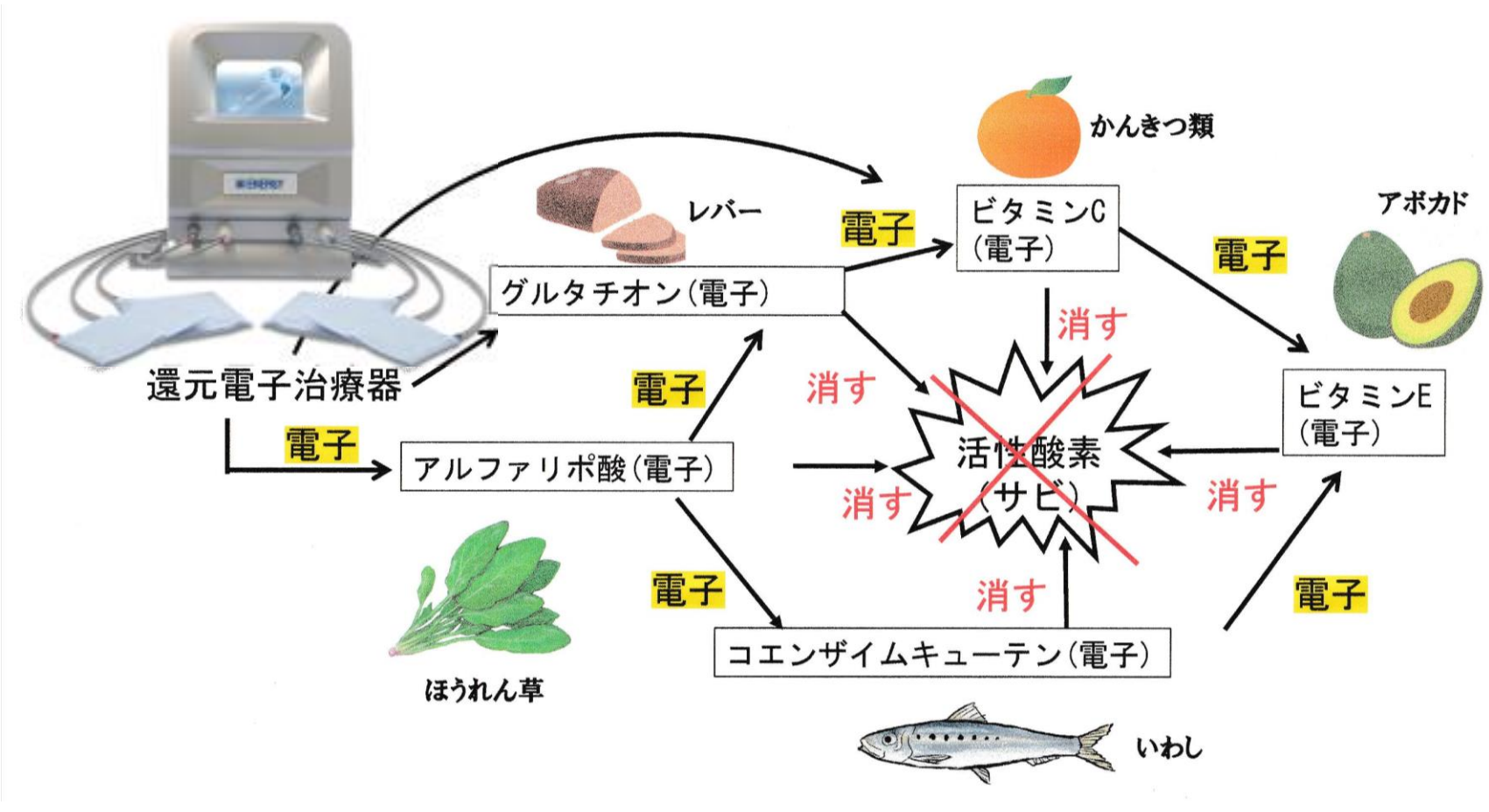
抗酸化物質が活性酸素を消す作業は、抗酸化物質が持っている“電子”によって行われます。上述のように私たちは日々の生活で抗酸化物質（電子）の不足に陥っているため、活性酸素を十分に消すことができず、何らかの病気に罹ってしまいます。そこで不足する電子を補充するために「還元電子治療器」をつくりました。図に示すように、体内では抗酸化物質同士で電子の受け渡しが行われています。その源流になっているのがアルファリポ酸です。還元電子治療器からの電子はもっぱらアルファリポ酸に供給され、以後グルタチオンやコエンザイムキューテンへ渡され、最終ビタミン C やビタミン E へ到達します。

アルファリポ酸は強力に炎症を消す

還元電子治療器を実践するときは、食べ物でアルファリポ酸を摂っておくことが重要です。最近では栄養補助食品(サプリメント)もでていますので、それを利用されてもよいです。その場合 1 日 50～100 ミリグラムを目安にしてください。またアルファリポ酸は体で発生している炎症を消す作用があります。炎症は病気の進行を助長します。たとえば癌が発症した場合、同じ部位に、同じ種類の同じ大きさの癌でも、より大きい炎症を持つ患者さんの方が進行します。還元電子治療器とアルファリポ酸の共同作業で、体の炎症をよりしっかりと消すことが可能になります。

健康なときに健康をつくる

日本人は世界のなかでも平均寿命が長いです。でも健康で長生きしている人は、ほんの一握りです。長きに亘って働くだけ働いて、最終病気になったのでは、とてもつまらない人生に思えます。最期まで元気よく過ごしたいものです。それには健康で過ごしている時に将来の健康をつくるしかありません。皆さん、是非健康を勝ち取りましょう！



第十三回「けんしょうかい川柳」入選作品

大賞

作者　藤沢貴代子様　岡山県在住

『二度寝して
母に呼ばれて
目をさます』

作者解説
二度寝をしていると〝貴代子〟とやさしい母の声で目がさめた。会いたかった母　夢に出て来てくれてありがとう！！

院長コメント
とても感動しました。

院長賞

作者　森井孝子様　香川県在住

『院内で
迎えてくれる
おひなさま』

作者解説
心和む美しい物語です。

院長コメント
沢山の患者さんが見入っていました。

★患者様のご厚意で院内に展示させて頂きました

エナジー賞

作者　テベス・メンドーサ様　香川県在住

『エナジーで
ハッピーエンド
水戸黄門』

作者解説
夕食後、水戸黄門を見ながら治療していると、気がつけば一件落着
寝てしまっていて、どちらも気分壮快！

院長コメント
最期まで健康でいければ、正にハッピーエンドです。

努力賞

作者　谷本昭子様　岡山県在住

『エナジーは
夜と朝との
お友達』

作者解説
新聞販売店なので夜寝る時と朝仕事が終わった時と二度かけて休んでいます。

院長コメント
時間をやりくりして治療器をかけている様子に共感します。

感謝賞

作者　宮本明美様　香川県在住

『古希すぎて
こきつかわれる
かいごかな』

作者解説
両親はいつまでも元気で長生きしてほしい。でも、介護は体験した者しかわからない苦労があります。
エナジーでピンピンコロリといきたいものです。

院長コメント
ご両親の感謝のご様子が浮かんできます。

頑張り賞

作者　中島輝子様　埼玉県在住

『主治医から
今日で終りますと
言われても』

作者解説
十六年間の入退院を繰り返し、通院を続けましたが、先生から「CT、内視鏡検査に再発転移の所見なしが続いていますので、次回の予約はなしになります。何か変わった時にはすぐ来て下さい。これからも元気に頑張って下さい。」と二人で聞きましたが、うれしさと不安で大丈夫ですかと先生に言った時には、先生はにこにこ顔で「今までのように生活して下さい。」と答えてくれました。放射線やいろいろな薬を使い続けて治療を続けましたが、Mi治療器エナジーを堀口先生の説明を聞きながら、長年使い続けたおかげです。家族中でエナジーで頑張る勇気が出ました。これからもよろしくお願い申し上げます。

院長コメント
お元気になれて、本当に良かったですね。

次回のご応募締め切り日は五月十五日です。
健翔会だより一一五号は六月一日発行分に掲載致します。
沢山のご応募お待ちしています。

けんしょうかい川柳　選考委員会